

## 行動計画構成イメージ(案)

平成 25 年 1 月 16 日  
薩 摩 川 内 市

行動計画は、本市次世代エネルギービジョンを具体的に推進していくための、具体的事業をとりまとめたもの。構成のイメージは以下のとおり。

## 1. 基本的考え方

(1) 現実性・事業性がある10万都市のモデルの構築(環境配慮型都市の実現)

ビジョンに記載する、薩摩川内市の将来像に関する基本的考え方や、本市の地域特性を踏まえるとともに、地域資源を最大限活用し、現実性・事業性がある10万都市の地域エネルギー政策のモデルとなる事業を整理したものとする。

(2) 政策の連動性と次世代エネルギーから見た解決策

施策目的の着実な達成を図るため、「本市総合計画」等との整合性を確保しつつ、次世代エネルギーの観点からの関連性や解決策を検討する。

(3) 市民生活の課題解決の仕組み

市民生活における様々な課題解決に寄与する、次世代エネルギー利活用方策の検討と整理を行う。

(4) 地域の持続的経済発展への貢献

市民生活の質の向上、産業振興、更には地域の活性化に貢献する次世代エネルギーの利活用方策(基幹エネルギーの使い方を含む)や、事業管理の仕組みを作る。

(5) 施策の実効性と重点対応

実施事業の効果や他の施策への波及効果等を勘案し、本市が抱える課題への対応とともに、地域特性、課題、住民の意向を踏まえ、重点的に推進していくことも検討する。

2. ビジョンや未来像との関係:別紙を参照しつつ記載

3. テーマ毎の取り組み：これまでのケーススタディの内容を踏まえ記載

- (1) 取り組み概要(目的、前提、展開する個別事業)
- (2) 背景と課題(テーマに関する地域実態と課題)
- (3) 取り組み方針(主旨と概念図等による説明)
- (4) 取り組みの概要(方針に基づいた可能な範囲での個々の事業説明)
- (5) ロードマップ

4. 参考:上記要素に加え、レビュー方法(主体及び頻度等)及び今後整理すべき課題等についても、可能な範囲で記載。

以上

# 本市次世代エネルギービジョン(案)と行動計画(案)の関係

## 薩摩川内市次世代エネルギービジョン(案)

1. ビジョン策定の背景と目的
2. 我が国のエネルギー政策の改革の方向性
3. 本市におけるエネルギー消費の現状と次世代エネルギー導入可能性
4. 次世代エネルギーを巡る市民や企業の意識
5. 薩摩川内市が抱える課題
6. 次世代エネルギーを活用した取り組みの方向性及び重点分野

## 7. 具体的取り組み例

テーマ毎に個別事業を例示する

## 8. 薩摩川内市の未来像

- (1) 市民生活の快適性や市民意識等の向上
- (2) 関連産業の集積と産業活動の効率性等の向上
- (3) 次世代エネルギーの導入促進
- (4) 既存エネルギー源も含めたまちづくりにおける新しいエネルギーの使い方の浸透

## 行動計画(案)

- 10年程度の時間軸を念頭に作成。
- 実施に際し「ヒト」、「カネ」、「ワザ」の使い方検討。

市民生活	テーマ1: エネルギーの使い方に着目した、高齢者の生活支援サービスの実現
	テーマ2: 市民と地域の交流を促すスマートアクセスの実現
	テーマ3: エネルギーの使い方にも配慮した生活様式の確立
	テーマ4: エネルギーの市民意識の向上
	テーマ5: 市民の活力によるエネルギーの自給自足モデルの構築
産業活動	テーマ6: 市内資源を活用した地域型産業の振興
	テーマ7: 本市農林水産力の向上
	テーマ8: 本市特有の観光スタイルの創出と育成
都市基盤整備	テーマ9: 次世代エネルギーの効果的な導入に関する技術研究及び仕組みづくり
	テーマ10: 立地環境等を踏まえた、エネルギーの賢い使い方に関する仕組みづくり

内容の詳細な検討

各テーマとの連動